対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ムルガブ行政郡カラクル地区地域病院整備計画 供与式報告

平成２７年３月２６日、「ムルガブ行政郡カラクル地区地域病院整備計画」の計画完了を記念する供与式がムルガブ行政郡で開かれ、鎌田大使、ムルガブ行政郡副郡長並びに多数の地元住民が参席しました。

カラクル地区はパミール自治州ムルガブ行政郡北部の標高３,５００メートルを超える高原に位置し、冬季はタジキスタンで最も厳しい気候条件下にある土地の１つです。同地区の人口は約８００名であり、郡中心地から１時間半の遠隔地にあるため、カラクル地区地域病院は地元住民にとって重要度の高い医療機関です。

本計画実施前の旧病棟は５０年前に建設された老朽化した建物を使用しており、使用可能な医療機材は少数の簡易的な機材に限られていました。特に、出産及び新生児の安全な保護に必要な医療環境が整っておらず、出生率にも悪影響を及ぼしていました。

本計画を通じ、同地域病院に新病棟が建設され、出産に必要な手術機材や新生児用ベッド等が供与されました。同地区における医療環境が向上し、より安全な出産が可能となりました。

大使，地元住民及びムルガブ行政郡副郡長によりテープカットが行われました。

建設された新病棟の外観。

建設された新病棟の内装。

本計画にて整備された血液凝固器および発電機。